

いわて自然公園特派員だより(岩手県自然保護課)

場所：八幡平の樹氷原

令和5年3月5日(日) 情報提供(文、写真) 岡野 治



八幡平に向かう登山者(標高1,400m付近)



藤助森から山頂間の樹氷原(奥に岩手山)

3月になり、山にも好天が訪れてくれたので、八幡平の綺麗な樹氷原を見ることができました。前回の2月上旬時は樹氷の出来はまいちで、2月下旬の暖気と降雨で樹氷は落ちてしまったのではないかと懸念していましたが、期待以上に樹氷は立派に残っており、山頂一帯は100%の出来でした。2月の寒波と降雪で成長したようです。深かった樹氷間のウネ(溝)もかなり埋まっており、高さ3mの山頂標示柱はすっかり埋まっていました。視界良く、岩手山・秋田駒・鳥海山・森吉山・岩木山も綺麗に臨めました。



八幡平山頂と西側の展望(奥に森吉山)



山頂東側から陵雲荘間の樹氷原

先週は八幡平で遭難が発生し、救助隊の献身的な活躍で救助されました。遭難者が冬の八幡平を知っていたか不明ですが、悪天の視界不良時はコースを見失う危険が高く、低体温により命の危険もあります。GPSも必携ですが、冬期は無理しないことが基本です。

今回のような好天時は問題なく歩け、岩手側・秋田側合わせて50名近い登山者が、素晴らしい景観に歓声を上げていました。(我々を含め大部分の方は週末のみ営業の秋田八幡平スキー場リフトを利用)

